

★(様式A) 通常事業評価シート【R4年度実施事業(一部) / 財務部市民税課による自己評価】

(単位: 千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	罹災証明書等発行事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	災害被害者の福祉の増進を図るため、罹災証明書等の交付を固定資産税課とともにを行う。	罹災証明書発行マニュアルと被害家屋等調査マニュアルへの分割の見直し	2: 一定近づいた	継続	-	2,865	2,865	現在の罹災証明書発行台帳は、エクセルデータでのみ管理している為、罹災証明書を迅速に発行できるようにする。	迅速に罹災証明書発行を発行かつ各種生活再建支援策に情報を共有できるように被災者支援システムの導入を検討する。	
2	市民税課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	府内出張等	5: 達成した	継続	8	12,893	12,901	なし	なし	
3	税証明発行事業	持続可能で信頼される行政になっている	納税義務者の利便を向上させるため、税に関する証明の交付を行う。	自動釣銭機導入 (R5.3) 証明書発行件数合計 約22,000件	5: 達成した	継続	-	16,595	16,595	各種証明書発行にあたり、時間のかかる郵送での手続きを改善する。	各種証明書発行にあたり、電子申請 (LōGōフォーム) を導入し、時間のかかる郵送での手続きを改善し住民サービスの向上を図る。	
4	臨時運行標識貸出事業	持続可能で信頼される行政になっている	臨時運行標識貸出希望者の利便を図るため、臨時運行標識の貸出を行う。	自動釣銭機導入 (R5.3) 貸出件数 約660件	5: 達成した	継続	-	5,223	5,223	なし	なし	
5	市民税等賦課事業	持続可能で信頼される行政になっている	市税収入の確保を図るため、市民税、軽自動車税、市たばこ税及び入湯税等の適正な賦課、減免、諸報告等を行う。	市民税等賦課事務	5: 達成した	継続	40,252	97,526	137,778	なし	なし	
6	賦課等システム運用事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民税等を公平かつ適正に課税するため、賦課システムを適切に管理運用する。	シミュレーションシステムの導入	5: 達成した	継続	-	8,809	8,809	なし	なし	